

夏休みが終わってしまいましたね。有意義な時間を過ごせましたか？
9月の健康目標は「生活リズムを整えて、健康に過ごそう」です。万が一、夏休みで生活が乱れ
てしまっ(=人がい)らう、次のステップをやってみたい(=こい)。

- ①夜更かしせず、早く寝る^{*} ②朝日を浴びる[☀] ③朝食をしっかりと食べる[🍳]

心から「が」学校モードに切り替わって、前向きになりますよ。
それでも「なん(=か)に(=るい)」「学校(=行く)に(=くはい)」という(=ま)に、心が疲れているのかもしれない。
ひとりでは悩まず、家族や先生、友(=ら)に相談して(=こ)いね。保健室でもお話ししましょう。

友だちがケガをした！ どうする!?

廊下で友だちと
ぶつかったら
生徒が窓ガラス
にぶつかって、
腕を切った！
シャツが血に染まっています、パニック状態に。



5分以上の止血を!

- ◆傷口を洗い、ハンカチ等を強く押し当てて止血し、心臓より高い位置に挙げます。
- ◆ガラスが体内に残っている可能性があるので、必ず病院へ。

ビニール袋などゴミ手袋を履いて
感染を防ごう



授業中に突然
過呼吸を起こした！
「息がどきどき、死んじゃう」と泣きじゃくり、手足のけいれんも見られる。



ゆっくり呼吸するように促す

- ◆「大丈夫だよ」とやさしく声をかけて安心させます。
- ◆息をゆっくり吸い、こらえて、ゆっくり吐き出すように勧め、落ち着くまで見守ります。

過呼吸で
死んでしまうことはいけません



サッカーの練習中、
ボールの奪い合いで
足がもつれ、
ひとりが転倒した！
「足首が痛いけど大丈夫」といってプレーを続けようとしていました。



まずは基本の応急手当を!

- ◆捻挫や骨折の可能性があるので、プレーを中断して安静に。
- ◆患部を圧迫固定し、氷のうなどで冷やすと、腫れや出血を抑え、痛みを和らげられます。

プレーを続けると
悪化の危険があります



AEDの使い方とポイント

AEDは、心臓がけいれんして血液を全身に送れない状態になった(=場合)に、電気ショックをかける正常な状態に戻す医療機器です。

2枚のパッドを傷病者の胸(=貼)り
(胸の右上と左下側)

周囲の人(=は、AEDが)解析して(=い)る最中や電気ショックボタンを押す(=と)きに(=は、傷病者に)触れず、離れ(=る)

AEDが電気ショックを必要と判断し(=場合)に、周囲の人が傷病者に触れて(=い)ないことを確認し電気ショックボタンを押す。

電気ショックが必要かどうかはAEDが自動で解析して(=れ)る

石中のAEDの設置場所
知っていますか?

ここに(=す)用務室 ですよ!
正面玄関の側(=に)あるので、いろど表示を確認して(=か)きましょう。



ながらスマホは視界の95%が見えていない!

横断歩道で、向かってくる歩行者と正面からぶつかったら
エスカレーターの降り口で転倒したら

普通なら起こらない(=はず)のこれらの事故(=は、スマホを見(=て)いるという共通点)があります。スマホを見ながら歩く「ながらスマホ」では、視界が20分の1(=に)まで狭ま(=る)ります。これは視界の95%が見えていない(=こと)です。「危(=な)かっ(=た)ら」(=と)は済ま(=ま)れな(=い)、命(=に)関(=わ)る事故(=も)多(=く)発(=生)して(=い)ます。ちゃんと見(=て)い(=て)る(=と)が、事故(=や)ケガ(=に)つ(=ま)る危(=険)がある(=こと)を(=た)れ(=な)い(=で)こ(=い)ね。



「排便」も大事な生活習慣です

生活習慣の要素として「睡眠(休養)」「食事」「運動」が「健康」を支えますが、見過ごされがちな「排便」も「健康」を支える大事な生活習慣です。規則的な排便が行われないと、便秘になりやすくなり、他の生活習慣とも影響し合います。体調不良(=に)つ(=ま)る(=と)も、夜(=ふ)か(=し)て(=し)て朝(=起)ま(=ら)れ(=な)か(=ら)ず(=と)も、朝食を食べない → 胃・結腸反射が起(=こ)る(=こ)ら(=ず) → 便秘?!
トイレに行く時間が長い → 行き(=に)く(=と)も(=が)まん → 便秘?!

便秘(=は)腹痛や腹部膨満感、食欲不振などの原因(=と)なります。また、便(=は)それ(=が)自分(=が)の(=)健康(=を)支(=え)る(=た)ま(=ご)の(=)役割(=を)果た(=し)て(=い)ます。他の生活習慣と同様に毎日(=の)生活(=に)リズム(=を)維持(=し)て(=い)ましょう。



健康診断結果に基づいて、夏休み中に受診した(=人)は、『受診連絡票』を提出して(=こ)い。

